



<発行>

南部合唱団

連絡先 〒214-0022

川崎市多摩区堰

1-22-1-416

TEL: 044-833-6220

世界の動きに確信を持ち

平和を守るため歌いましょう

団長 大井 かつ江

南部合唱団音楽会
12月5日(火)開催

今年の音楽会のテーマは「わたしたちのラブソング『世界に九条を』」。

戦後61年、日本は憲法九条があることよって、一人の外国人も武力によつて殺すことがありませんでした。平和を愛する他国の国民を信頼し、軍隊を持たず、世界中の人々の「恐怖と欠乏からの自由」を実現するために努力する。このことが本場の国際貢献であり、憲法九条は世界に誇る宝物です。音楽会は、世界にむかって平和を発信し続けたジョン・レノンの「Happy

Christmas」で幕を開けます。今の世界の流れは

南部合唱団九条の会が7月1日に行った学習会で、日本平和委員会代表理事の佐藤光雄さんのお話を伺いました(詳細は6・7面)。安保条約のもとでアメリカ軍の陸・海・空の司令基地が日本の自衛隊の基地に移り、一体化するといふ非常に危険な状態が起きていることを聞き愕然としました。日本がアメリカとともに行動することでアジアの国々から脅威をもたれ、九条をなくすことがあれば信頼を失ってしまう。

しかし今世界の流れは、弱肉強食・格差拡大・拝金主義の「新自由主義」アメリカ型経済主義に対し、ラテンアメリカ・ヨーロッパ・アジア諸国で、自

主独立、平和主義、そして国の責任で国民の暮らしをよくしていこうという新しい闘いが発展していることを伺って、力が湧いてきました。このことを確信にして、会場の皆さんと平和への思いを共有できる素敵な音楽会にしてゆきましょう。レッスンに集中！ チラシ・ポスター・チケットも間もなく完成し

ます。素敵なものができました。いよいよ本格的にオルグ開始です。音楽会まで5か月を切りま

した。夏休みを考えると実質あと4か月です。レッスンに集中し、一回のレッスンを成功

6月23〜28日へカナダ・バンクーバーへ 世界平和フォーラムに うたごえから5人が派遣

参加した日本のうたごえ全国協議会の小沢久さんはメールでニュースを配信し、連日歌い続ける仲間の活動を克明に知らせてくれました。小沢さんの報告の抜粋を掲載します(うたごえ新聞7月17日号に詳細掲載)。

世界百か国から集まっ

いる場合ではありません

た五千人の参加者は350のイベントを成功させ、核兵器も戦争もない平和な世界の実現に向け、学び、討論し、交流した。開会式でエレン・ウツズワースさん(バンクーバー元市議会議員)は「このフォーラムは平和と正義を求めるテーマのもと作られました。私たちの市民運動からの平和は、核兵器廃絶やイラク占領の終了なども含めて全体の意味で平和です。地方の自治体やコミュニティも持続可能な社会にむけて動かなければなりません。戦争にお金を使っ

た。過去を忘れるのではなく、過去の戦争から何かを学んだ生き残りの方から経験を学んで、知恵を生かして明日にむけて、新しい未来にむけて維持可能な社会を作らなければなりません。ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ホロコーストという社会をつくらなければなりません」と訴えた。

5人のうたごえ代表団は、連日、街頭で、集会で歌い続け、日本からの平和のメッセージを届ける大きな役割を果たした。「ねがい」の英語版とローマ字版の楽譜の入ったチラシと、憲法・平和歌集「ねがい」を用意し、何か国もの人と歌い交わすシーンが実現、この歌の持つている力を改めて確認した。どんなときでも「We Shall Overcome」は歓迎され、まさに世界共通の平和の歌になつていいることを実感した。

日本原水協主催の「広島・長崎の悲劇」の分科会では、日本の被爆者だけでなく、韓国、ロシア、ネパダなどから被爆者が証言。「この苦しみは私たち限りにはない」という命をかけての訴えに参加者はヒバクシャを生みださない決意を新たにしました。日本代表団が取り組んだ「すみやかな核兵器の廃絶」を署名は二千五百筆以上、秋の国連総会に向けての取り組みに弾みをつけるものとなった。